

保護司会連絡協議会会長賞

堺市立 三宝小学校 六年

櫻井 梨乃

私たちができること

私は「犯罪」や「非行」などをして反省をし、更生しようとしている人はまわりの人の「あたたかい心」が必要だと思います。

社会復帰した人は「あたたかい心」があるかないかだけでもその人の道が変わってしまうことがあります。立ち直りを見守ったり支えたりすることで私たちの暮らしている地域がより「安心・安全」なものとなっていきます。ですが社会復帰してもその人の居場所がなくて再び犯罪などをしてしまう人も少なくありません。そのほかにも、コミュニケーションをとって社会を明るくすることもできます。社会復帰ができてその人は「不安」です。だれかに何かを言われたいか、「犯罪・非行」をしていた人だからさけていないかなど思ってしまったのかもしれません。その人が明るい道を通れるように私は最初にコミュニケーションをとり少しでも安心してもらいたいと考えています。私が一年生に入学する時も色々な人から支えてもらったり、コミュニケーションをとることで私は安心して一年生をむかえられたからです。なので私も生きづらい人や不安をかかえている人といっしょにコミ

ュニケーションをとったりすることで、その人に安心で安全と分かってもらいたいからです。そうすることで自分も相手も「あたたかい心」ができ、次はその人が社会復帰した人を支え助け合っ
て「犯罪や非行のない安心・安全で明るい社会」にしていきたい
と思います。私は生きていきづらい人の全員を助けることはでき
ません。ですが、まわりの人も、「あたたかい心」で助けたりコミ
ュニケーションをとったりしていたら、社会が少しずつでも明る
くなっていくと思います。犯罪などを起こしてしまったらし
ょうがない。と考えると、その人が次どういう行動をするかを考えたり
することが私にとって大切だと思います。この「どう
いう行動をするのか」は、立ち直ろうとしている人に寄りそったり、コ
ミュニケーションをとったりなど、私たちの行動でも相手は、次はも
っといい行動を起こすかもしれません。私はそういう人の道のり
を良い方向にわかめたいです。「更生」にたどりつくには少し時
間がかかると思います。時間がかかっている時に、不安でいっ
ぱいな人を私たちが支え、助け合っ
て「更生」までたどりつかせて

あげたいです。私は小さなことでもいいので「できることから始める」取り組みをしたいと考えています。少しでもその人の気持ちに安心させたいからです。例えば、「おはよう」や「こんにちは」と言われたらうれしくなったりしませんか。このような身近なことでもその人を安心させられる一つだと思います。

私たちが大切にしておくことは「あたたかい心」です。「あたたかい心」を大切にしておけば、その人は明るい道を行って困っている人を助けたりして、それがくり返されることによって、犯罪や非行のない明るい社会になっていくと思います。私たちは小さなことでもいいので、できることからやっていき、安心・安全な社会を目指したいです。

